

学習指導案 岩国商業高等学校 東分校

1 教科名 社会と情報

2 単位数 2単位

3 対象学年 3学年 25名（男子11名 女子14名）

4 学習目標

情報の特徴と情報が及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。

5 学習内容（全60時間）

第1章 情報の活用と表現

第2章 情報通信ネットワークとコミュニケーション

第3章 望ましい情報社会を構築するために

6 本時の学習内容（28時間目）

第2章 情報通信ネットワークの活用とコミュニケーション

第3節 情報通信ネットワークのしくみ（教科書P81～）

7 本時の使用教材

教科省 日本文教出版 「社会と情報」

教材（デジタルコンテンツ）

スマホに潜む危険—スマートフォンを安全に活用するために—

プレゼンテーションソフト「パワーポイント」を活用

8 本時の目標

情報通信ネットワークを適切に活用するための知識を習得する。また、情報通信機器の活用によって発生するトラブルについて認識し、被害者にも加害者にもなることなく、安全に活用する方法について理解させる。

9 単元の評価基準

関心・意欲・態度

情報化が社会に果たす役割や影響に関心を持って、身のまわりの情報を積極的に収集しようとする。

思考・判断・表現

情報化が進む中でのトラブルや問題点を把握するとともに、その解決策について思考を深めて表現することができる。

技能

情報機器を活用し多様な形態の情報を統合化し、伝えたい情報をわかりやすく表現する。

知識・理解

情報通信機器や情報通信ネットワークを適切に活用し、情報を収集・処理・活用する知識を身に付けるとともに、これらを活用する際の情報モラルについて理解する。

10 学習指導案 実施教室 コンピューター教室

学習事項	学習活動	指導上の留意点
<p>(導入) 5分</p> <p>○インターネットが活用できる情報通信機器について</p>	<p>○インターネットが活用できる情報通信機器にはどのようなものがあるか考える。(生徒に質問)</p>	<p>○インターネットを活用できる情報通信機器を持っていない生徒もいることを配慮する。持っていなくても一緒に考えることを伝える。</p>
<p>(展開) 35分</p> <p>○身近な情報通信機器であるスマートフォンのすぐれた面について</p> <p>○スマートフォンを活用してのトラブルについて</p> <p>○トラブル防止について</p> <p>○スマートフォンに潜む危険について</p> <p>○個人情報について</p> <p>○情報モラルについて</p>	<p>○すぐれている点について各自が考えてみる。</p> <p>○トラブルについて報告する</p> <p>○トラブルがあった場合はどのように対応したか報告する</p> <p>○スマートフォンに潜む危険について知る。</p> <p>○個人情報を守る大切さを知る</p> <p>○相手を傷つけるような行為をしないためには、相手の立場になって考え行動することを伝える。</p>	<p>○用紙を配布し、記入させトラブルについてはプライトの内容は話さなくても良いと伝える。</p> <p>○自作教材の活用 教材のスライドを必要に応じて掲示してわかりやすく説明する。</p> <p>○パワーポイントのリンク2を活用(スマートフォンに潜む危険)</p> <p>○スマートフォンの利用により自らを危険にさらしたり、他者に被害を与える事は絶対にしてはならない点をしっかりと伝える。</p>
<p>(本時のまとめ) 10分</p> <p>○スマートフォンに潜む危険について</p> <p>○スマートフォンを活用するとき被害者にも加害者にもならない方法</p> <p>○本日の学習内容をまとめる。</p> <p>○次回の予告</p>	<p>○スマートフォンの活用において被害者にも加害者にもならないためにはどのような点に気をつけたらよいかを述べなさい。</p> <p>○ワードにを入力し、サーバに保存する。(ヘッダーに出席番号・氏名を記入する) (200字以上)</p> <p>○提出した内容の発表をする。</p>	<p>○時間内に完成できない場合は次回の授業の最初に時間をとるのでそのときに続きを入力する。</p> <p>○評価の対象となることを伝える。</p> <p>○提出した内容については発表してもらうとともに、単元の評価基準にあわせて評価することを伝える。</p>